

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：関東地方整備局道路部地域道路課
 担当課長名：榎引 繁雄

事業名	市道 田谷線	事業区分	地方道	事業主体	横浜市
起終点	自：横浜市栄区田谷町 至：横浜市栄区田谷町	延長	0.7km		

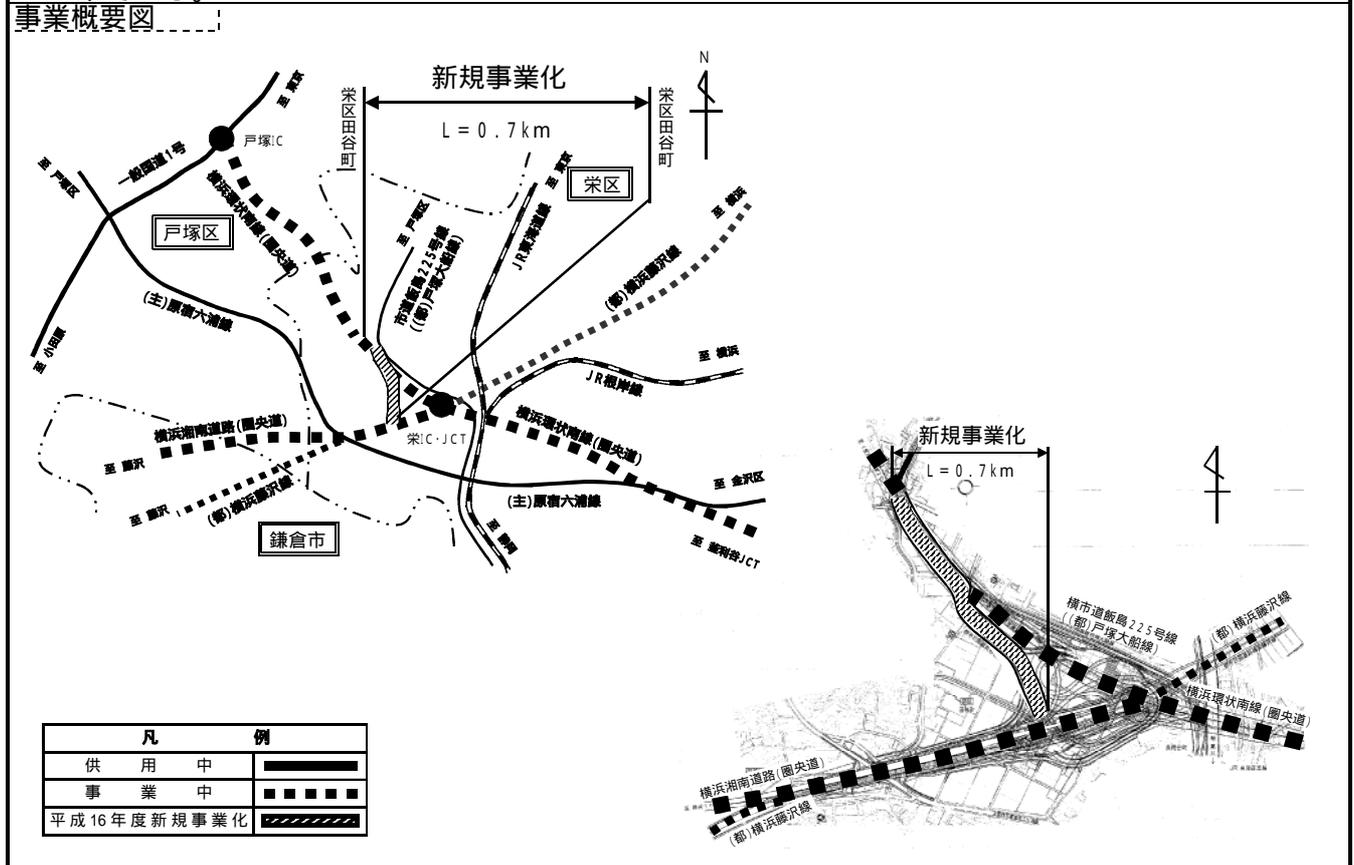
事業概要
 市道田谷線は、横浜市栄区田谷町地先において、横浜環状南線（圏央道）と横浜湘南道路（圏央道）を連絡する（仮称）栄IC・JCTへのアクセス道路であり、栄IC・JCTの流出入部区間にあたる延長0.7kmの2車線新設道路である。

事業の目的、必要性
 本事業は、（仮）栄IC・JCTの整備にあわせ、圏央道の利用交通を横浜市街地等へ円滑かつ適切に分散・導入することを目的とするものであり、地域交通の円滑化や栄IC・JCTの利便性向上に寄与するものである。

全体事業費	20億円	計画交通量	3,200台/日
費用対効果分析結果	B/C 2.2	総費用	16億円 （事業費：16億円 維持管理費：0億円）
		総便益	34億円 （走行時間短縮便益：33億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：0億円）
		基準年	平成15年

事業の効果等
 ・円滑なモビリティの確保（バス路線の利便性向上）
 ・都市再生（都市再生プロジェクトを支援する事業である）
 ・他のプロジェクトとの関係（関連する大規模道路事業（圏央道）と一体的に整備する必要あり）
 他2項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見
 ・7都府市首都圏中央連絡自動車道建設促進会議（東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、千葉県、横浜市、千葉市「H4年11月設立」）を設置し建設促進を図る要望活動等を行っている。
 ・平成15年11月に開催された「道路整備の促進を求める神奈川県大会（首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟「会長神奈川県知事」他）」において国庫補助新規採択を要望する路線として位置づけている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。